



第 1248 回例会報告

【12月は家族月間】

平成 23 年 11 月 24 日(木) 晴

会長挨拶

会長 三村昌暉

セブ島の子供達に音楽教育を

本日は、会員増強に関する例会を予定しておりましたが、ファックスでご案内したとおり、「セブ島の子供達に音楽教育を」事業の準備作業とさせていただきます。

下諏訪中学校のご協力により約60台の鍵盤ハーモニカが寄贈されました。新聞を見た諏訪地方の方々から、寄贈の申し込みがあいついでおります。

また、上諏訪の小林楽器店さんに吹き口を180ヶ発注いたしました。事業の主旨に賛同され、30台もの新品のリコーダーを寄贈していただきました。反響の大きさに驚いております。

11月17日に下諏訪町の小沢教育長さんとも懇談いたしました。事業の進展に期待を込めた歓迎をさせていただきました。

これら善意の贈り物を携えて、国際奉仕委員会を中心とした渡比団が12月3日からセブ島に渡ります。本日は、会員各位に手分けして贈られた楽器の手入れと、使用の可否を確認していただきます。

8月にガバナー事務所から「第1回未来の夢計画に関するアンケート」が有りまして、8月13日付で回答いたしました。 「グローバル補助金を利用したプロジェクトとして望ましいものは」の解答として、「基礎的教育と識字率向上に該当するプロジェクトを計画。マッチング・グラントを活用して、セブ島及びマクタン島の貧村の井戸建設を行ってきた。このプロジェクト実施中に交流が生まれた公立マクタン小学校で、音楽教育が殆ど出来ていないことを知った。本年5月渡比した折、諏訪地区の中学生の家庭から寄贈された鍵盤ハーモニカを現地の教師に披露したところ、大変興味を示し、”是非学童たちに、この楽器を使って音楽教育を施したい”と懇願された。

下諏訪の地元中学校に、不要になった鍵盤ハーモニカがあれば、フィリピンの学童の音楽教育のために寄贈して欲しい旨、お願いして集め、渡比して現地の児童

にこれを使った音楽教育を始めたい。ここまでは、現行の地区補助金を利用してある程度の基盤を作りたい。日本の学童が使わなくなった鍵盤ハーモニカをセブの小学校の学童の音感教育に役立てようというのが、諏訪湖RCの国際奉仕活動です。将来的には、セブの学童と日本の学童の「鍵盤ハーモニカ&英会話の交流」を、インターネットを利用して、更には鍵盤ハーモニカを演奏できる諏訪の学童と父兄が、当クラブメンバーと共に渡比し、この楽器演奏を介しての、国際交流を実現させたいと考えています。

要約すると、以上のような解答をいたしました。地区も期待と注目をしているようです。始まったばかりですが、私達が思っている以上に回りの期待が大きくなっていく様で不安もありますが大切に育てていければ良いなど思っております。

◇幹事報告◇

【報告事項】

- ①本日、第6回理事会が行われました。
- 12月の例会日程
- 12/01 社会奉仕委員会
- /08 クラブ会報について

<p>■ニコニコBOX</p> <p>25名 35,000円 累計 551,000円 目標額 130万円 達成率 42.3%</p> <p>■今週のことば</p> <p>溝口先生が突如よみがえりました。 これをハイシャフツカツと言います 蒲地整志</p>	<p>■出席報告</p> <p>会員数 33名 出席対象 33名 出席者数 26名 出席率 78.7% 前回修正 81.8%</p> <p>■次回のプログラム</p> <p>12月8日 月信の読み方・見方 雑誌広報委員会</p>
--	--



